

そらこめ通信 No.93 2018年6月7日発行

このたびは弊社の米をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。日頃よりご愛顧頂いております皆様にはこの場をお借りして厚くお礼を申し上げます。

5月の後半から今日(6/7)まで比較的穏やかな日が続いていて、日中は汗ばむほどの暑さを感じる日がありますが、夜は涼しく・・・と言うか、たまに凍えるくらいの夜もあり、あまりの寒暖差に戸惑うほどです。夜に限らずこの時期の風が冷たく感じる理由には諸説ありますが、「ほ場に水が入った」ことを理由に挙げる人が結構いらっやいます。風向きなども大いに関係していると思いますが、雪解け水で満たされた「ほ場」が熱交換器の役割を担っているという原理もうなずける話です。まして近隣の山々には多くの雪が残っています。日が落ちると同時に一気に気温が下がっても不思議ではありません。

6月に入って北海道内は本格的な観光シーズンに入りました。観光で道内を周遊する人の数「観光入込客数」について、北海道経済部観光局が取りまとめた資料が北海道のホームページに掲載されています。それによると、第二四半期(7~9月)がダントツで観光客が多いとのこと。雪祭りシーズンを除けば、5月から10月までが北海道旅行の最適期なのではないでしょうか。資料の中で注目し値するのは道外客と外国人客の動向です。一昨年の台風被害の年も含めて前年比で毎年増え続けているのだとか。北海道の人気、恐るべしといったところですよ。

澄み渡った青空のもと、満々と水を湛えたほ場と残雪をとどめる山々・・・まるで1枚の絵画のようです。それらコントラストが素晴らしいこの時期は、旅にはもってこいの季節。皆さまも道外や海外のお客さまに負けじと食や観光にお出かけされてはいかがでしょうか。北海道には梅雨がないと言われていて、青い空を「五月晴れ」と言えるかどうか判りませんが、北海道の初夏にふさわしい風景に出会えるかと思えます。



ほ場の耕起作業(5月1日)



ほ場の耕起作業(5月1日)



耕起後の肥料散布(5月9日)



耕起後の肥料散布(5月9日)



代かき作業(5月11日)



代かき作業(5月18日)



田植え作業(5月24日)



育苗ハウスで苗を軽トラックに積み込む作業(5月24日)



軽トラックから田植え機に苗を移す作業(5月24日)



田植え作業(5月24日)



移植後の苗のようす(5月24日)



田植え機の稼働のようす(5月24日9)



田植え機に水を補充する(5月24日)



田植えが終わったあとのほ場のようす～いずれも「ななつぼし」のほ場(6月2日)

今年の田植えですが、始まりが5月22日、間に1日休みを入れて、終わったのが5月29日の夕刻でした。正味7日間です。昨年の田植えの始まりは5月18日(これは試運転を兼ねたもので半日ほど)、終わりが5月26日午前中だったかと記憶しています。雪の関係などで昨年より数日遅れの田植え作業でしたが、無事終わることができてホッとしております。

インターネットで美味しいお米!

(株)空知こめ工房 ホームページ
<http://www.sorachi-kome.jp/>
 facebookによるブログ「生産日誌」更新中